



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フェローテック

コード番号 6890 URL <http://www.ferrotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 章

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山村 丈 TEL 03-3281-8186

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	37,650	12.0	3,376	73.8	2,107	11.6	1,033	△14.0
28年3月期第2四半期	33,615	15.0	1,942	62.0	1,888	126.4	1,202	239.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △4,764百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 1,689百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	33.56	33.39
28年3月期第2四半期	39.02	38.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	82,366	34,424	41.0	1,095.63
28年3月期	78,769	39,488	49.1	1,255.55

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 33,756百万円 28年3月期 38,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	8.0	5,800	44.1	4,700	23.0	2,900	34.1	94.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	30,903,702株	28年3月期	30,903,702株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	93,496株	28年3月期	93,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	30,810,235株	28年3月期2Q	30,810,278株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明会資料は、決算説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済では経済指標の改善で景気の底堅さが見られ、企業業績の期待感などから米国市場では株価が堅調に推移しています。中国経済では、不透明感が払拭されないものの、一定の経済成長が維持されています。我が国では、企業活動に回復の兆しが見えましたが、円高による企業収益の下振れ懸念や設備投資の不振などが報道されております。また、消費者マインドの回復も足踏み状態が続いています。為替相場では、引続き円高基調が続いております。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、海外での半導体や液晶・有機ELパネルなどの製造設備投資が継続しており、設備稼働率も一定の水準で推移しています。太陽電池産業では、太陽電池パネルの設置量が中国・インドを中心とした新興国で増加しています。自動車産業では、北米の自動車販売台数に一服感が見られましたが概ね堅調に推移しています。

このような事業環境のなか、当社グループの装置関連事業におきましては、半導体・液晶パネル等の製造装置向け真空シールや製造プロセスで使用される治具・消耗品であるマテリアル製品(石英・シリコンパーツ・セラミックス・CVD-SiC)の需要が堅調でした。太陽電池関連事業におきましては、年初からシリコン製品などの需要増により量産効果が向上し黒字を維持しました。電子デバイス事業におきましては、主力の自動車温調シート向けのサーモモジュールは、概ね堅調であり、パワー半導体用基板も底堅く推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は37,650百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は3,376百万円(前年同期比73.8%増)、経常利益は円高の進行に伴う為替差損の発生により2,107百万円(前年同期比11.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,033百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

セグメントにつきましては、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」、「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとして分類しております。

セグメントの状況は以下のとおりです。

(装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、CVD-SiC製品、シリコンウエーハ加工などです。

石英製品、セラミックス製品、CVD-SiC製品など半導体製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォン用NAND型フラッシュメモリやデータセンターなどに利用されるSSDと称される記憶媒体などの製造用途に需要が安定しており、デバイスメーカーの設備稼働率が高水準であったため堅調に推移しました。需要拡大を受けてセラミックスとCVD-SiC製品は新たな生産工場を建築中です。一方、各種製造装置の機能部品である真空シールは、半導体の微細化と3D化用の製造設備や液晶・有機ELパネルの製造設備用途の需要も増えております。シリコンウエーハ加工は、小口径ウエーハの需要が増加傾向となり計画の通りとなりました。8インチウエーハ用の新工場建築は、概ね計画の通りに進捗しております。

当該事業は、半導体製造装置の出荷及び稼働率に連動しますが、引続き底堅く推移する見込みです。

この結果、当該事業の売上高は16,049百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は1,905百万円(前年同期比32.6%増)となりました。

(太陽電池関連事業)

当該事業の主な製品は、シリコン製品、石英坩堝、角槽、シリコン結晶製造装置などです。

太陽電池産業は、COP21パリ協定の採択後、再生エネルギーである太陽光発電が見直されることとなり、インドを中心に新興国での需要が活発化しました。中国ではFIT(固定価格買取制度)の買取価格の減額方針を受け、一時的な駆け込み需要が発生しました。当社のシリコン製品や消耗品と太陽電池セルも概ね計画線に着地しました。今後は、同市場での在庫調整が見込まれ、再び製品価格の下落が予想されます。その対策として多結晶シリコン製造に使用される消耗品の生産設備の一部を除却いたしました。

当該事業のシリコン単結晶製造装置と消耗品の石英坩堝は、半導体用途へ技術移転を進めており、今後も事業構造改革の継続による収益改善策を進めてまいります。

この結果、当該事業の売上高は10,644百万円(前年同期比21.8%増)、営業利益は193百万円(前年同期は737百万円の営業損失)となりました。

(電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、パワー半導体用基板、磁性流体などです。

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国・中国市場での自動車販売が堅調に推移したため、概ね計画線の売上で推移しました。一方、民生・家電分野や中国における通信機器用途ならびに医療検査装置・バイオ関連機器・半導体機器用途は、堅調に推移しました。パワー半導体用基板は、新たな顧客からの認定を得たため、増産体制を進めており受注増加に対応する予定です。磁性流体は、車載用スピーカー用途が堅調に推移しました。

当該事業は、主力の自動車温調シート向けの販売比率が約5割を占めることから為替の影響を受けやすいため、その対策として電源・基板・放熱板を組込んだユニット製品に注力し、用途拡大に努めてまいります。

この結果、当該事業の売上高は6,130百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は1,263百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

<資産>

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ3,596百万円増加し、82,366百万円となりました。これは主に建設仮勘定4,470百万円の増加によるものであります。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ8,660百万円増加し、47,941百万円となりました。これは主に長期借入金5,203百万円、その他固定負債3,009百万円の増加によるものであります。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ5,063百万円減少し、34,424百万円となりました。これは主に利益剰余金725百万円の増加と為替換算調整勘定5,695百万円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,526百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には12,564百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は2,915百万円(前年同期比681百万円減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,821百万円、減価償却費1,930百万円、仕入債務の増加額2,434百万円と、売上債権の増加額2,662百万円によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は2,779百万円(前年同期比463百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3,149百万円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果得られた資金は3,689百万円(前年同期比2,524百万円増)となりました。これは主に長期借入れによる収入6,590百万円、短期借入金の減少額636百万円、長期借入金の返済による支出1,885百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「営業外費用(為替差損)の計上及び第2四半期業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,038,534	12,564,752
受取手形及び売掛金	17,745,985	17,308,224
商品及び製品	6,224,747	5,477,408
仕掛品	3,269,650	3,705,315
原材料及び貯蔵品	4,949,465	4,790,422
その他	3,924,976	4,445,372
貸倒引当金	△868,803	△740,145
流動資産合計	45,284,554	47,551,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,695,959	6,568,626
機械装置及び運搬具(純額)	9,575,375	7,765,055
工具、器具及び備品(純額)	6,103,413	5,188,752
土地	631,880	883,076
リース資産(純額)	748,336	677,131
建設仮勘定	2,289,822	6,760,476
有形固定資産合計	26,044,787	27,843,119
無形固定資産		
のれん	668,198	847,477
その他	1,394,412	1,153,627
無形固定資産合計	2,062,610	2,001,105
投資その他の資産		
その他	6,135,801	5,613,527
貸倒引当金	△758,563	△642,993
投資その他の資産合計	5,377,238	4,970,533
固定資産合計	33,484,636	34,814,758
資産合計	78,769,191	82,366,107

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,996,028	12,315,850
短期借入金	6,922,551	5,594,626
1年内返済予定の長期借入金	3,386,074	4,036,427
未払法人税等	512,070	347,443
賞与引当金	819,636	881,535
その他	6,715,182	6,364,655
流動負債合計	29,351,545	29,540,539
固定負債		
長期借入金	6,399,071	11,602,981
退職給付に係る負債	184,927	440,747
役員退職慰労引当金	33,350	36,050
資産除去債務	94,281	94,625
その他	3,217,471	6,226,477
固定負債合計	9,929,100	18,400,881
負債合計	39,280,646	47,941,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,201,346	13,201,346
資本剰余金	13,800,414	13,800,414
利益剰余金	3,284,418	4,010,163
自己株式	△86,355	△86,464
株主資本合計	30,199,823	30,925,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,961	110,781
為替換算調整勘定	8,493,053	2,797,097
退職給付に係る調整累計額	△82,898	△76,835
その他の包括利益累計額合計	8,484,116	2,831,043
新株予約権	24,350	30,519
非支配株主持分	780,254	637,664
純資産合計	39,488,545	34,424,686
負債純資産合計	78,769,191	82,366,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	33,615,889	37,650,816
売上原価	25,067,217	27,556,424
売上総利益	8,548,672	10,094,391
販売費及び一般管理費	6,605,786	6,717,434
営業利益	1,942,885	3,376,957
営業外収益		
受取利息	17,528	15,537
為替差益	243,692	—
持分法による投資利益	53,385	136,171
その他	100,642	171,588
営業外収益合計	415,249	323,297
営業外費用		
支払利息	275,214	242,696
為替差損	—	1,122,019
その他	194,087	227,643
営業外費用合計	469,302	1,592,359
経常利益	1,888,831	2,107,895
特別利益		
固定資産売却益	29,205	2,257
その他	257	146
特別利益合計	29,462	2,404
特別損失		
固定資産処分損	50,509	288,589
関係会社株式評価損	3,722	—
特別損失合計	54,231	288,589
税金等調整前四半期純利益	1,864,062	1,821,710
法人税等	681,388	865,402
四半期純利益	1,182,674	956,308
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,688	△77,538
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,202,362	1,033,847

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,182,674	956,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,927	36,819
為替換算調整勘定	618,614	△5,705,142
退職給付に係る調整額	2,552	6,062
持分法適用会社に対する持分相当額	2,594	△58,209
その他の包括利益合計	506,833	△5,720,468
四半期包括利益	1,689,507	△4,764,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,698,308	△4,619,225
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,801	△144,934

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,864,062	1,821,710
減価償却費	2,119,739	1,930,121
のれん償却額	69,954	99,420
株式報酬費用	7,895	6,169
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,510	121,880
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△37,255	2,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	232,789	915
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	31,330	30,123
受取利息及び受取配当金	△23,607	△22,609
支払利息	275,214	242,696
為替差損益(△は益)	△90,348	644,292
持分法による投資損益(△は益)	△53,385	△136,171
固定資産売却損益(△は益)	△29,205	△2,257
固定資産処分損益(△は益)	50,509	288,589
売上債権の増減額(△は増加)	△941,741	△2,662,827
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,390,416	△372,740
仕入債務の増減額(△は減少)	1,713,594	2,434,619
その他	1,313,644	△424,956
小計	4,122,286	4,001,676
利息及び配当金の受取額	36,553	15,062
利息の支払額	△276,769	△235,759
法人税等の支払額	△285,113	△865,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,596,956	2,915,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,936,271	△3,149,573
有形固定資産の売却による収入	196,228	48,183
投資有価証券の取得による支出	△718	△815
投資有価証券の売却による収入	—	399
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△221,008	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	387,924
関係会社株式の取得による支出	—	△10,000
関係会社出資金の払込による支出	—	△13,624
貸付けによる支出	△20,000	—
貸付金の回収による収入	51,409	39,036
その他	△385,777	△81,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,316,138	△2,779,753

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,314,199	△636,538
長期借入れによる収入	4,500,380	6,590,600
長期借入金の返済による支出	△1,723,296	△1,885,359
リース債務の返済による支出	△49,816	△70,914
自己株式の取得による支出	—	△109
配当金の支払額	△248,208	△307,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,164,859	3,689,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	109,018	△1,298,886
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,554,695	2,526,218
現金及び現金同等物の期首残高	10,517,647	10,038,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,072,342	12,564,752

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	15,491,018	8,741,257	6,466,414	30,698,689	2,917,200	33,615,889	—	33,615,889
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	34,385	—	—	34,385	2,131	36,517	△36,517	—
計	15,525,403	8,741,257	6,466,414	30,733,075	2,919,331	33,652,407	△36,517	33,615,889
セグメント利益又 は損失(△)	1,436,689	△737,036	1,218,569	1,918,223	62,716	1,980,939	△38,054	1,942,885

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△38,054千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	16,049,646	10,644,206	6,130,972	32,824,825	4,825,990	37,650,816	—	37,650,816
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	57,057	—	—	57,057	645	57,703	△57,703	—
計	16,106,704	10,644,206	6,130,972	32,881,882	4,826,636	37,708,519	△57,703	37,650,816
セグメント利益	1,905,314	193,230	1,263,699	3,362,244	37,424	3,399,668	△22,711	3,376,957

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△22,711千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。